

### かごしま国体延期 令和5年開催へ

#### 新型コロナウイルス感染拡大 競技会開催大幅変更

令和2年は64年ぶりの東京オリンピック、48年ぶりの鹿児島国体開催の年で、希望と期待に満ちた年明けを迎えました。

ところが御案内のとおり、中国に端を発した新型コロナウイルス感染症がまたたく間に全国・世界に広がり、社会経済活動の自粛を余儀なくされ、スポーツ活動も制限されてしまいました。

#### 東京オリンピック・パラリンピックは1年延期 全国高校総体・中学総体等中止 県大会も

東京オリンピック・パラリンピックは1年延期され、全国高等学校総合体育大会や全国中学校総合体育大会は中止となり、ハレの舞台での活躍を夢み、頑張ってきた選手の胸を痛める事態となりました。

秋に計画されていたかごしま国体も延期せざるを得ない状況に至り、9月中には3年遅れとなる令和5年(2023年)開催が正式に決まりそうです。

こうした中で、本協会の活動もままならず、2月下旬の県下一周駅伝競走大会が終わって以降、鹿児島マラソン2020から6月までの4か月間記録会と競技会の一部を中止したり、延期の措置をとってまいりました。

#### 7月活動再開 感染防止対策要領・フローチャート作成

7月に入り、やっと活動再開となり、全国のトップを切って第75回県陸上競技選手権大会を開催しました。感染防止対策要領を定めるとともに、対応のフローチャートを作成したりするなど、手探り・手作りの対策を講じての競技会運営でした。しかも大会直前に鹿児島市のパブで集団感染が発生し、危機感を持ちながらの運営でした。その後5つの競技会を実施してきましたが、幸い心配したようなことは起きておらず、一先ずは安堵しています。

#### 高校・中学県総体の代替大会を協会主催で開催

全国及び県の高校・中学総体が中止することになったことを受けて、選手の活躍の機会・場を提供するために、本協会が主体となって代替となる競技会を開催しました。久しぶりに白波スタジアムで躍動する選手たちの姿を目にして、嬉しさが込みあげてきました。

その後、日本陸連も全国高校・中学総体に代わる競技会を計画しており、申込資格記録突破に向けた戦いが繰り広げられました。

#### 都道府県対抗男子・女子駅伝競走大会も中止の方向

ひときわ暑かった夏も台風10号の影響もあり、朝夕秋らしくなり、日中も30度以下の日が多くなってきました。これからロードレース・駅伝大会のシーズンを迎えます。秋から冬に開催される大会についても新型コロナウイルス感染症防止及び安全確保を図る観点から、日本陸連は全国都道府県対抗男子・女子駅伝競走大会の中止の方向を示しており、また、外の全国規模のロードレースや駅伝競走大会の中止も伝えられています。この波が地方の大会にまで波及することが懸念されます。

ちなみに、都道府県対抗女子駅伝競走大会については、ワコールの一山麻緒のふるさと選手としての参加の内諾を既に得ており、高校勢も強力な選手を擁していただけに、残念でなりません。

ただ、全国高校駅伝競走大会は実施の方向といわれ、県の大会も計画どおりに開催することで準備を進めています。中学大会については、全国大会は中止を発表しましたが、県大会については予定どおりに行うことで計画を進めています。

#### 県下一周駅伝・県地区対抗女子駅伝 予断を許さず

第78回県下一周駅伝競走大会と第34回県地区対抗女子駅伝競走大会の開催も課題となっています。これまで開かれた本部運営委員会では実施の方向で申し合わせてきていますが、今後の感染の展開如何、状況の推移を見守ることになっており、予断を許しません。

特に、県下一周駅伝競走大会は5日間という長丁場の戦いであり、多くのボランティアの協力をいただきながら行っており、課題も多く一つひとつの解決していく取組が大会実施のキーポイントとなります。

#### 令和2年度異例のスタート 理事会は書面決議で

左記のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大により、記録会や競技会の中止・延期のみならず、本協会の活動や組織運営等にも多大な影響がありました。

令和2年度第2回理事会は、3月20日に対面での会議を行いました。新年度の第1回理事会は書面での決議ということになり、異例の取組となりました。

また、定時評議員会は5月6日に評議員の出席をいただいて開催しました。

これらの会議において、本協会の令和元年度の事業報告や決算について承認をいただくとともに、令和2年度の事業計画や予算、栄章受賞者等について了承を得て、新年度がスタートしました。

#### 功労章や各賞受賞 おめでとうございます

理事会において、一般財団法人鹿児島陸上競技協会の令和元年度の功労章や各賞が決まりました。贈与式は、例年でしたら7月開催の県陸上競技選手権大会の席上で行うことになっていましたが、残念ながら取り止めることとなりました。受賞者の皆さまにはせっかくの披露の機会がなくなったことを申し訳なく感じています。

功労章や各賞を受けられた方々は次のとおりです。各位のこれまでの御尽力に敬意を表しますとともに、受賞を心からお祝い申し上げます。

なお、賞を受けられた方々の所属・学年は3月31日時です。また、敬称は略します。

#### 【鹿児島陸上競技協会】

- ☆ 功労章
  - 上村 正常(鹿児島) 鈴木 和彦(川 薩)
  - 富山 良昭(始 良) 駒水 政則(川 辺)
- ☆ 最優秀選手賞
  - 池満 綾乃(鹿児島銀行)
- ☆ 優秀選手賞
  - 向井 大賀(鹿児島商業高等学校3年)
- ☆ 優秀新人賞
  - 広川 采矢子(川内中央中学校3年)
- ☆ 県記録樹立賞
  - 大山 和茂(鹿児島県体協) 400m 47"11
  - 向井 大賀(鹿児島商業高3年) 5000mW 20'12"51
  - バイレ シンシア(神村学園高2年)
  - (国際) 1500m 4'10"99
  - (国際) 3000m 8'49"72
  - 青柳 唯(鹿児島県体協) 棒高跳 4m00
  - 山元 祐李(九州共立大) やり投 53m35
- ☆ 優秀指導者賞
  - 楠本 美徳(鹿児島商業高校教諭)
  - 若下 邦浩(谷山中学校教諭)
- ☆ 特別賞
  - 白石 黄良々(セレスポ)
  - 始良陸上競技協会
- ☆ 感謝状
  - 本坊 修

#### 【日本陸上競技連盟】

日本陸上競技連盟栄章関係の秩父宮章や高校優秀指導者賞、中学優秀指導者賞の授与は、例年国民体育大会及び全国大会開催時に行われることになってはいますが、延期あるいは中止となりました。

紙面で御報告し、受賞をお喜び申し上げます。

- ☆ 秩父宮章
  - 本坊 修(一財・鹿児島陸上競技協会会長)
- ☆ 高校優秀指導者賞
  - 吉浦 知子(松陽高等学校教諭)
- ☆ 中学校優秀指導者賞
  - 柴田 剛(城西中学校教諭)
- ☆ 安藤百福記念章
  - 竹内 良人(SCC)
- ☆ 高校優秀選手賞
  - バイレ シンシア(神村学園高等学校2年)
- ☆ 中学優秀選手賞
  - 川上 亮磨(高尾野中学校3年)

#### 【県体育協会功労賞(令和2年度)】

- 徳永 敏江(指宿地区)
- 植松 寧治(一財・鹿児島陸上競技協会監事)

第75回

県陸上競技選手権大会開催

新型コロナウイルス感染防止のため 無観客開催

第75回鹿児島県陸上競技選手権大会は、7月3日から5日まで3日間にわたって白波スタジアムで行ないました。

新型コロナウイルス感染の拡大により、さまざまな活動や事業の自粛が続き、7月から活動が再開された直後で、全国のトップを切つての競技会開催となりました。

そのために、競技会実施に向けた対策について、常務理事会や医科学委員会等で協議し、感染防止対策要領を定めたり、フローチャートを作成するとともに、プロジェクトチームを組織するなど、手探り・手作りで安全確保に努めて、大会開催に臨みました。

また、感染防止の徹底を図るために、一般の方々のスタンドでの応援をなくし、いわゆる無観客での大会となりました。さらに、選手やスタッフ、競技役員等には事前に健康状態のチェックをしていただき、その報告を当日受付で提出してもらったり、消毒剤等を準備するなどして運営にあたりました。

しかも、大会直前に鹿児島市内のバブで感染者が出て、集団感染の状況を呈し、危機感を抱きながらの運営となりました。

選手たちは躍動！好記録続出 大会記録12更新

本年度最初の競技会となった大会に、選手たちは躍動。部活動の自粛があり、練習不足が懸念されたが、例年大会新記録はせいぜい4種目程度のところ、今回は10種目で12の新記録が生まれ、充実した盛り上がりのある大会になりました。また、ジュニアの部においても5種目で延べ13の新記録が出ました。中でも、女子ハンマー投で県体育協会所属の濱田恵里奈が県新記録となる53m64をマークして優勝。女子4×400mRにおいて、西紫原中学校チームが4分14秒78の県中学新記録を達成しました。

かごしま国体に向けた取組が実を結びつつあることを感じる一方、国体が延期になったことを残念に思いました。

玉川杯は佐田征義・鐵丸美由紀・バイレ シンシア

本大会で最も活躍した選手に贈られる玉川杯は、男子十種競技において好記録で優勝した順天堂大学2年の佐田征義、女子走高跳を制した鹿児島銀行の鐵丸美由紀と女子1500m、5000mの2種目において、大会新及国際県新記録で勝利した神村学園高校3年のバイレ シンシアに贈られました。

今年度の各種目の選手権者及び記録は次のとおりです。各選手の今後ますますの精進・飛躍、活躍を期待しています。

Table with 3 columns: Distance, Time, Athlete Name. Includes events like 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 10000m, 110mH, 400mH, 3000mSC, 5000mW, 4x100mR, 4x400mR, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投, 十種競技.

Table with 3 columns: Distance, Time, Athlete Name. Includes events like 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 100mH, 400mH, 5000mW, 4x100mR, 4x400mR, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳.

Table with 3 columns: Distance, Time, Athlete Name. Includes events like 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投, 七種競技.

県高校・中学総体代替大会を開催！

高校生や中学生の夢の舞台である全国の高校総体や中学総体の中止に歩調を合わせるように、県大会も中止を余儀なくされた。

こうした流れを変えるべく、本協会が主体になって代替となる競技会を行いました。特に、それぞれのステージの3年生にとっては、集大成の機会を奪われ、悲しく辛い日々を過ごしてきており、何らかのチャンスを与えたいと思ひ、実施しました。高校大会については、規模を縮小しての記録会となりましたが、選手たちの頑張る姿に喜びと元気をもらいました。

また、高校記録会は日本陸連の2020全国高等学校リモート陸上競技選手権大会の指定大会として行いました。

さらに、中学大会は計画されていたジュニアオリンピック県予選会に代えて、2日間で開催しました。

なお、全国大会への申込資格記録を達成した人数は、高校男子6種目、女子5種目で実数22人、延べ人数23人。中学校男子8種目、女子4種目で実数20人、延べ人数22人でした。高校は10月23日(金)～25日(日)に広島で、中学校は月16日(金)～18日(日)に横浜で行われます。活躍を念じてます。

鶴田玲美(南九州ファミリーマート) 県新連発

この春大学を卒業し、かごしま国体出場を期して帰郷して南九州ファミリーマートに就職した、鶴田玲美は新型コロナウイルスによる活動自粛の期間があったにもかかわらず、100mと200mに県記録を立て続けに更新しています。

7月開催の県陸上競技選手権大会及び東京都選手権大会で100mと200mの2種目を制覇。その勢いで8月29日のAthlete Night Games in FUKUI2020の100mにおいて11秒48、9月6日の山梨の富士北麓ワールドトライアル2020の200mで23秒81のすばらしい県記録を出し、大活躍を続けています。10月3日から新潟で行われる日本陸上競技選手権大会での走りが楽しみです。期待しましょう。

ナンクク杯県ロードリレー大会 in 大崎開催

～熊本・宮崎から強豪チーム参戦 43チームで戦い～

栄冠は女子の部 小林高A 男子高校 鹿児島城西高A 男子一般の部は京セラ鹿児島が逆転で制す

昨年開設・オープンしたジャパラスリートレーニングセンター大隅の利用促進と本県及び大隅地域の長距離の発展や競技力の向上をめざして、第2回となるナンクク杯県ロードリレー大会を9月13日に開催しました。

女子の部は3.45kmのコースを5区間の17.25km、男子は3.45kmから7.05kmのコースを7区間の38.25kmの距離で争いました。

今回は熊本県から千原台高校、宮崎県から小林高校の強豪チームを交え、前回を上回る43チームの参加を得て熱戦が展開されました。

女子の部は熊本と宮崎県勢の争いとなり、男子の部は高校・一般共にレベルの高い戦いが繰り広げられ、すべての区間で区間新記録が誕生し、チームの成績も大会新記録を達成しました。

各部門の総合6位までの成績は、下記のとおりです。

Table with 3 columns: Rank, Team Name, Time. Includes categories like 女子の部, 男子・高校の部, 男子・一般の部.